



## 2. 位置と地勢

本町は、紀伊半島の南西部、和歌山県の海岸線のほぼ中央に位置しています。日高郡に属し、紀南地域の中心都市である田辺市に隣接しています。生活圏域としては、田辺広域圏と御坊広域圏の中間地域に位置しています。

総面積は120.26 km<sup>2</sup>で、現在の和歌山県下市町村平均面積の157.53 km<sup>2</sup>を少し下回ることなり、和歌山県全域面積(4,726 km<sup>2</sup>)の約2.5%を占めます。

紀州灘を臨み、南部川流域に広がる丘陵地、低地、山林地帯を含むバラエティに富んだ地勢を持っており、丘陵地にひろがる梅林では日本一のブランドを誇る「南高梅」の栽培が盛んです。

山間部は、森林、渓谷などの自然資源に恵まれ、「鶴の湯温泉」があります。また、炭の最高級品である「紀州備長炭」の生産が盛んであり、備長炭の里としても有名です。

黒潮洗う海岸部は、風光明媚な景観を誇り、「国民宿舎紀州路みなべ」などの温泉施設があり、海釣りをはじめとした海洋レジャーや漁業も盛んで、「千里の浜」は貴重な自然資源であるアカウミガメの産卵の地として全国的に有名です。

図 みなべ町の位置



### 3.人口

平成17年の国勢調査によると、本町は人口14,200人で和歌山県全体の人口(1,035,969人)の1.4%を占めます。

また、産業別就業者割合を見ると、第一次産業が40.5%となっており、全国平均の4.8%と比較して極めて高く、また和歌山県平均の10.4%と比較しても高く、典型的な農林水産業主体のまちであるといえます。

世代別の人口構成をみると、65歳以上の高齢者比率が25.5%で、全国平均の20.1%、和歌山県平均の24.1%と比較して高く、高齢者率が高い地域であるといえます。

みなべ町の基礎指標

	面積 (k m <sup>2</sup> )	人口 (人)	産業別就業者割合(%)			年齢別(3区分)人口割合		
			1次	2次	3次	15歳未満	15~65歳	65歳以上
みなべ町	120.26	14,200	40.5%	22.3%	37.1%	15.9%	58.6%	25.5%
和歌山県	4,726	1,035,969	10.4%	23.1%	64.8%	13.8%	62.0%	24.1%
全国	377,915	127,767,994	4.8%	26.1%	67.2%	13.7%	65.8%	20.1%

資料：平成17年国勢調査

平成 18 年 5 月 1 日の総務省の推計人口によると、日本の人口は減少に転じており、平成 28 年には 1 億 2591 万人になると予測されています。

それに対し、本町では、1980 年代から既に人口減少が始まっており、今後も全国の推計よりも早いスピードで人口の減少が進み、基本構想の目標年度である平成 28 年には約 12,600 人(平成 12 年と 17 年の国勢調査人口の推移から推計)と、現在より 1,606 人、約 11%程度減少することが予測されます。

図 全国及びみなべ町の将来人口予測(国による推計などより作成)

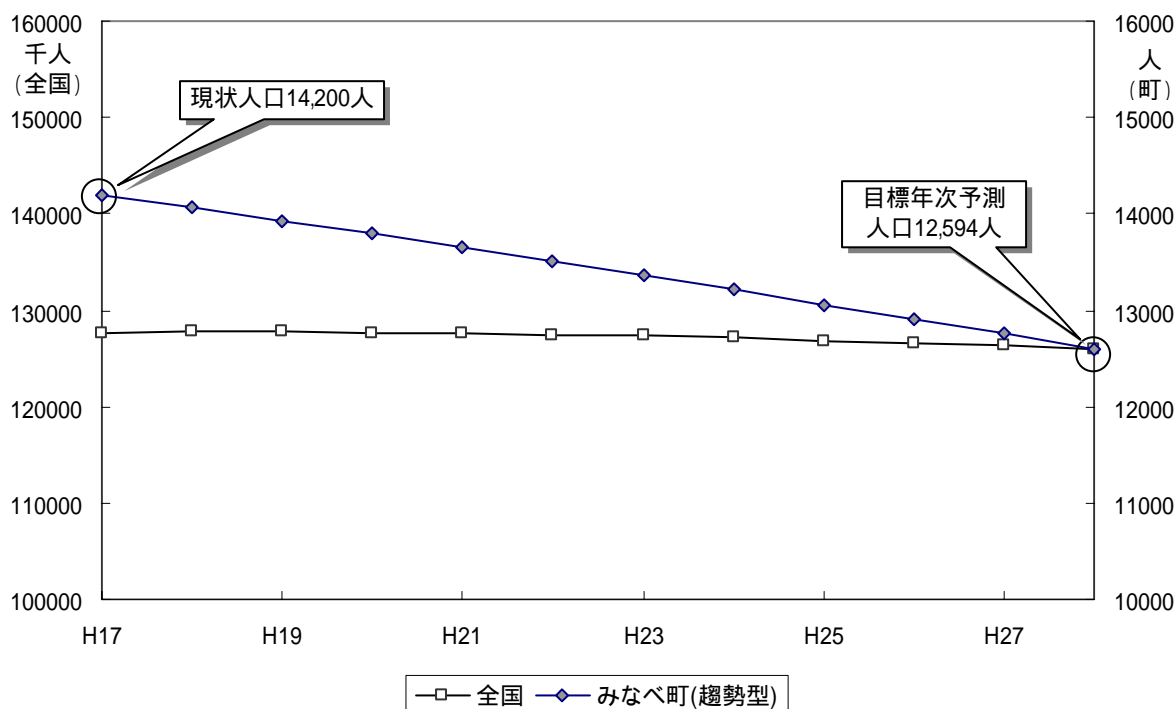


図 H17年人口構成

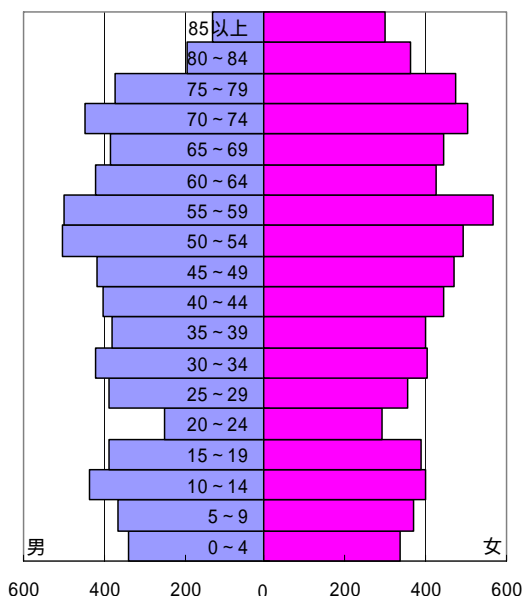
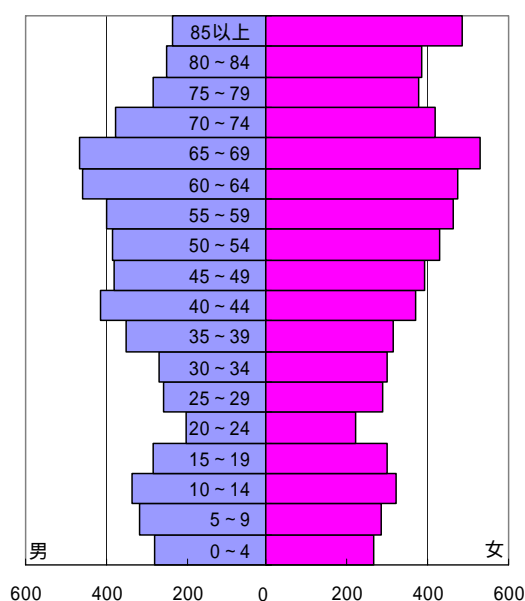


図 H28年人口構成

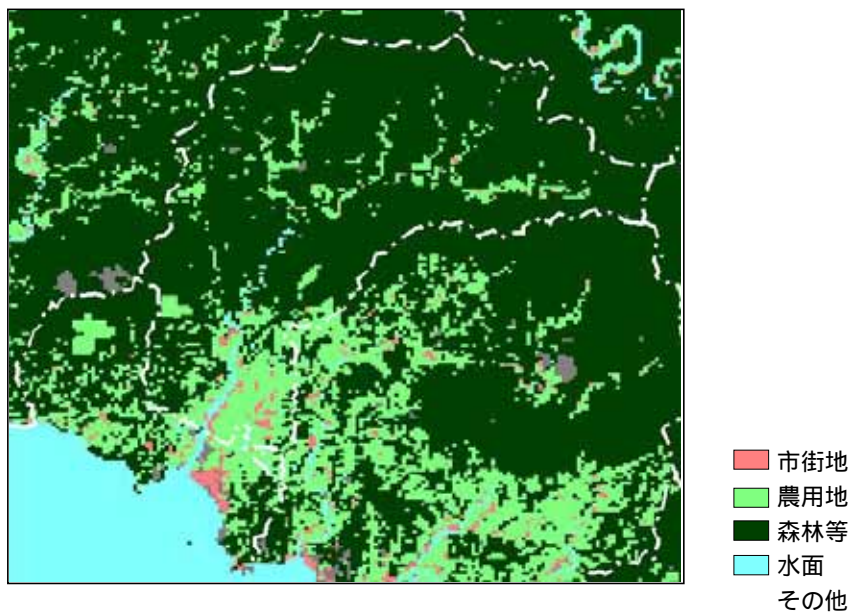


4. 土地利用

土地利用現況は、森林面積が約 7 割（8,200ha）、農地が約 2 割（2,440ha）を占めています。行政面積から森林、水面等を除いたいわゆる可住地面積は 3,723ha となり可住地面積率は 31.0%、可住地面積あたりの人口密度は 381 人/km<sup>2</sup> です。

（可住地面積については「平成 18 年度和歌山県のすがた」より）

図表 土地利用



地目別土地面積

単位：ha

田	畑	森林	水面・河川・水路	道路	宅地	その他	計
279	2,161	8,200	398	379	241	368	12,026
2.3%	18.0%	68.2%	3.3%	3.1%	2.0%	3.1%	100.0%

資料：土地利用現況把握調査（平成 17 年 10 月 1 日現在）